

中山小学校校歌

勝 承夫 作詞

下総 皖一 作曲



1. みどりかがやく 広野の果てに
呼ぶよ秩父の あの青空が
夢もひろがる 大らかな
中山校は 希望の泉
われら明るく はてなく進む
2. かおるそよ風 陣屋の跡の
庭はたのしい こどもの広場
こころそろえて 元気よく
自律のちかい なかよく守る
知恵の若鳥 のびゆく力
3. おどれ若あゆ 越辺の岸に
思う祖先の 治水の勲
どんなことにも 負けないで
中山校は やりぬく気風
あすの日本を 担おうわれら

伊草小学校校歌

田口 良男 作詞

吉田登志雄 作曲



1. 秩父の峰の紫に
越辺の川の水清し
伊草太郎を育みし
天与の恵ここにあり
我等が校舎伊草校
2. 春は桜の花受けて
青田に夏は浄められ
秋は菊花の精をとり
秩父おろしに冬鍛う
我等は健児伊草校
3. 師弟のきずないとかたく
次の日本を担い立つ
知徳の柱学びとり
日に日に進む世に処して
英児は育つ伊草校

三保谷小学校校歌

田中 康雄 作詞

別宮 貞雄 作曲



1. 青い秩父の山脈に
続く広野の学び舎は
みどりの風に輝いて
知識の泉湧くところ
ああ 三保谷小学校
2. 流れもつきぬ荒川を
めぐる川島堤こそ
たゆまぬ父祖をしのばせて
学びの鐘の鳴るところ
ああ 三保谷小学校
3. 高き誉れは広徳の
勇気あふるるしころびき
心身共に鍛えよと
希望の旗の立つところ
ああ 三保谷小学校

出丸小学校校歌

神山 任一 作詞

小山 章三 作曲



1. おらさきけむる 秩父嶺に
続く広野の 学び舎は
松の緑に 照り映えて
知識の泉湧くところ
ああ出丸小学校 よい母校
2. 学びの道は 険しくも
知恵伊豆公に あやかりて
真理の道を ひたすらに
心そろえて 励み合う
ああ出丸小学校 よい母校
3. 村をとりまく 堤こそ
しのぶ祖先の 治水の勲
どんな苦勞も のり越えて
心身ともに 鍛えぬく
ああ出丸小学校は よい母校

ハツ保小学校校歌

綱島 憲次 作詞
日下部憲夫 作曲



1. 青い空から ひろい野に
そそぐひかりを身にうけて
共にきたえた たくましい
ぼくらの学校 ハツ保校
ああ ハツ保校 よい母校
2. 吹くはそよ風 ひろい野に
高いのぞみの 旗立てて
共に学ぶも うつくしい
わたしの学校 ハツ保校
ああ ハツ保校 よい母校
3. 実る稲田の ひろい野に
遠い秩父嶺 日にはえて
共に平和の うるわしい
みんなの学校 ハツ保校
ああ ハツ保校 よい母校

小見野小学校校歌

鈴木 利雄 作詞
山口 九蔵 作曲



1. みどり輝く秩父嶺に
続く広野の学び舎は
心とからだすこやかに
育て鍛えてたくましく
ああ小見野小学校
2. めぐる荒川市の川
雄々しくたてる学び舎は
自ら学ぶ心意気
育て鍛えてひたすらに
ああ小見野小学校
3. 紫におう武蔵野に
そびえたてる学び舎は
共に仲よく手をとって
育て鍛えてうるわしく
ああ小見野小学校

川島中学校校歌

永井 隆明 作詞
入野 義朗 作曲



1. 高くゆかりの 花かおる
地はむらさきに 川島の
郷にそびえる 学びやぞ
自立のちかい われらの心
希望の空へ まゆあげて
ともに学ばん いぎ 友よ 友よ
2. 遠い山脈 秩父嶺に
つづく広野は 果てなくて
光りあふれる わが天地
たゆまぬ努力 われらのつとめ
輝く空へ 胸はって
ともに励まん いぎ 友よ 友よ
3. めぐる堤は 川島の
地の利ゆたかに はぐくみて
かたいきずなの いましめぞ
むすぶともがき われらの力
明日の日本へ 手をとって
ともに進まん いぎ 友よ 友よ

西中学校校歌

永井 隆明 作詞
土肥 泰 作曲



1. 秩父嶺の遠い山なみ
ひらけゆく 我らが郷土
青春の窓を あければ
希望の光 野にあふる
ああ若人よ 手を組んで
理想の道を 求めんともに
2. 武蔵野に光あつめて
学び舎は そそりて立てる
富士の嶺に 胸をひらけば
輝く英知 湧き出ずる
ああ若人よ 手を組んで
真理の道を 進まんともに
3. たゆるなき越辺の流れ
草もゆる 堤ははるか
川島の風土 守りて
文化の泉 わくところ
ああ若人よ 手を組んで
日本の未来 担おうともに